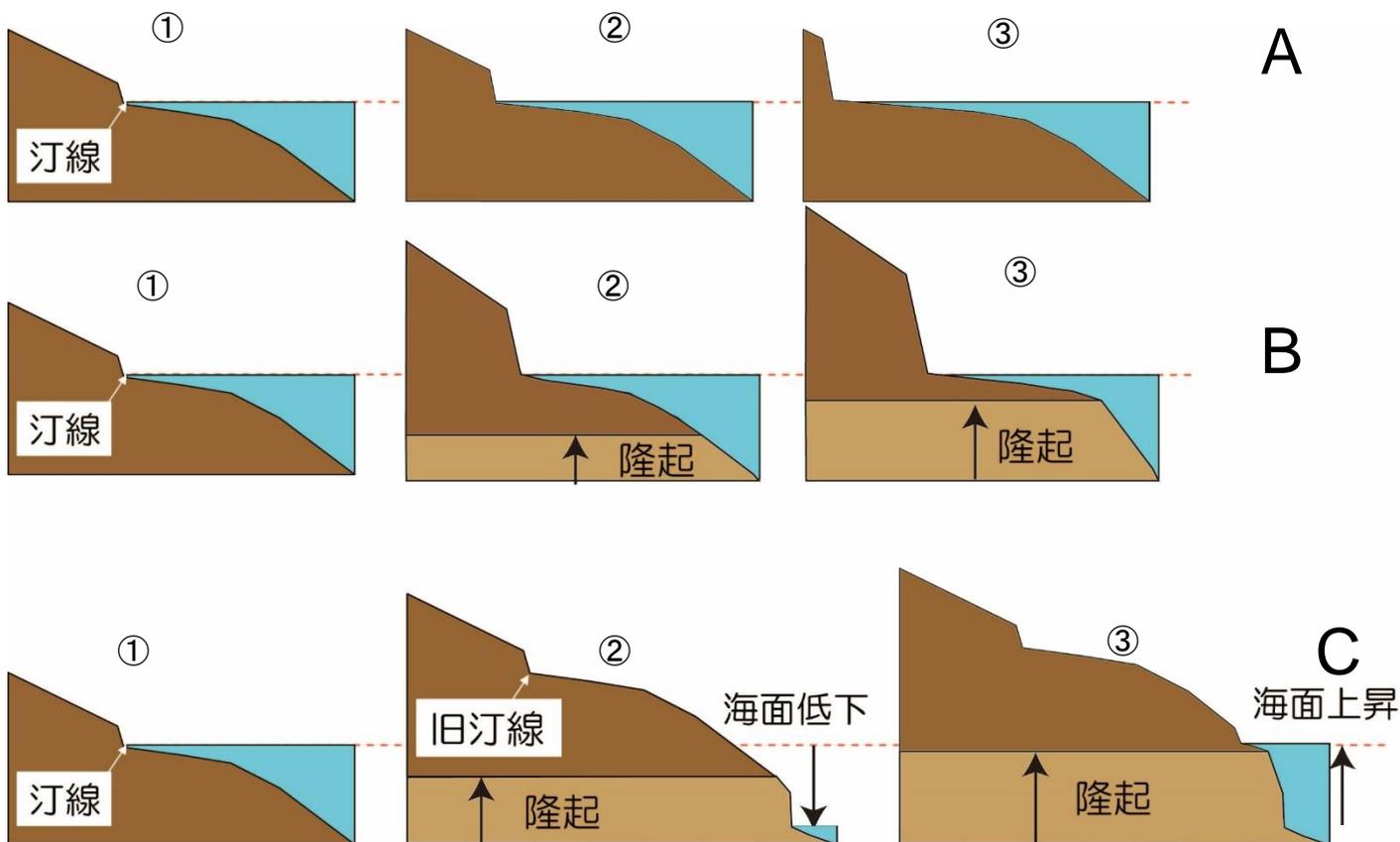


海岸の地形変化の模式図



③が現在で、②が昔で、①はさらに昔。①→②→③の順に時間が進むことを示す。

Aは、地盤の隆起も海面変化もない場合。

Bは、地盤の隆起はあるが、海面変化がない場合。

Cは、地盤の隆起も海面変化もある場合。

地盤の隆起も海面変化も起こっていない A の場合、波の侵食、堆積作用によって、汀線付近に平野が形成され、その平野は内陸に広がっていく。

地盤は隆起しているが海面変化がない B の場合、A と同様に、汀線付近に平野が形成される。地盤の隆起は、千年間で数 m 程度のものであるため、波が届かない高さまで、短時間に隆起するわけではない。このため、たとえ地盤が隆起していても、波の侵食によって、平坦な地形が維持される。ただし、汀線の背後にある海食崖は、隆起した分だけ高くなっていく。

地盤の隆起も海面変化もある場合 C の場合、

